今月号からスタート!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.1

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

代表取締役
石井 祐一（いしい ゆういち）氏

石井電算印刷株式会社

郡山市田村町上行合字南川田37-2
TEL.024-942-5200
http://www.5200idp.co.jp

大ヒットした「マスクケース」（下）と「うちわっち」（上）

お客様のために何ができるのか 知恵を絞り、アイデアを形に

山口 事業内容について。

石井 総合印刷業で、名刺やパンフレット、ポスターなどを制作しています。近年、業態を少しずつ変革しており、受注型から提案型のスタイルも取り入れています。

山口 企業理念は。

石井 「お客様のために良い商品を提供し、お客様とともに我々も発展しよう」ということです。小さな会社ですがお客様の一番のひいきになりたいです。何でも相談でき、何でも頼めて、便利に使っていただける、そういう会社を目指しています。

山口 商品の品質を保つために必要なことは。

石井 印刷機械も古く、難しい部分もありました。幸か不幸か4年前の水害の影響で、新しい機械に刷新しました。紫外線で乾燥するインキを用いるUV印刷機も導入し、納品までの時間を大幅に短縮でき、高品質の商品をお届けすることが可能になりました。

山口 新型コロナの感染対策用の商品もありますね。

石井 抗菌仕様マスクケースを作ったところ、500万枚のヒット商品となりました。口元に当てて飛沫を防ぐ「うちわっち」という商品も開発し、扇形のおしゃれなデザインが人気となり、旅館などで重宝されています。保管や提示に便利な「ワクチン手帳」も好評です。コロナの影響で社員の発想力や提案力が豊かになったと感じています。

山口 健康経営の取り組みについてはいかがですか。

石井 2022年度の「ふくしま健康経営優良事業所」に認定されましたが、コロナ関連の商品開発が大きく関わっています。コロナ禍で仕事が落ち着き、社員一人ひとりに考える余裕が生まれ、お客様のために何ができるのか知恵を絞り、アイデアを形にすることでモチベーションがアップしました。結果、社内に活気がみなぎり、生産性が向上して、お客様からも高い評価を得ることが出来ました。

石井社長から印刷機械の説明を受ける山口さん

山口 社員のメンタル面の管理や福利厚生は。

石井 健康診断で健康相談を受け付けています。心身に不安のある社員が専門家に相談し、何か月にもわたってフォローしてくれます。手紙を送ってくださったりするので、温かい気持ちにもなり、安心して相談できるようです。フィットネスクラブ「エルフィット八山田」の法人会員になっていて、社員はもちろん、社員の家族も利用できます。

山口 印刷業界の未来は。

石井 県の印刷工業組合の郡山支部長を務めていますが、SDGsに取り組む中で、適正管理された森林木材による製品である「FSC©森林認証紙」の普及に力を入れています。紙の生産は森林破壊につながるイメージを持たれがちですが、このシステムは「切ったら植える、切ったら植える」を繰り返し、絶対に森林を減らさない仕組みです。印刷会社に与えられた認証番号をたどると最終的に、いつ、どこの森林で切った材料を使ったのかまで判別できます。環境に配慮することで、デジタル化が進んだ現在でも、紙製品や紙文化を守ることができると確信しています。

山口 デジタル社会の到来で印刷業界は変革期を迎えています。しかし、社員の努力で積極的な提案型の企業へと進化し、新しい素敵な未来を感じました。社長や社員の元気は日本の元気です！印刷の新たな未来に期待しています。

好評連載中!

山口和之さんの いき企業探訪

Interview vol.2

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

誰もが気軽に安心して立ち寄れる薬局に「身近な健康ステーション」を目指す

代表取締役社長
山口 仁（やまぐち じん）氏

山口薬品株式会社（山口薬局）

郡山市安積2丁目6-1
TEL.024-946-0066
https://www.yamayaku.com/

【郡山市】
山口薬局大町店/
荒井中央店/
本町店/長久保店
【二本松市】
山口薬局二本松店
【いわき市】
たまち薬局

地域住民の健康をサポートする山口薬局

―まずは業務内容についてお聞かせください。

山口社長　郡山市に4店舗、二本松市、いわき市にも店舗を展開し、調剤薬局業務をメインとして行っています。一般医薬品や健康食品のOTC（処方箋なし）商品販売、薬剤師による薬や健康に関する相談、管理栄養士による栄養相談などを通じ、地域の皆さんにとって、薬局という場所が処方箋をお持ちでなくても気軽に立ち寄っていただける「身近な健康ステーション」となれるよう努めています。

―理想とする薬局像は。

山口社長　処方した薬をお渡しするだけでなく、患者さんや地域の皆さんの「健康」をサポートし、何かあったら気軽に相談できるスタッフがいる薬局にしたいと考えています。「山口薬局で薬をもらったら（薬を飲むことだけでなく）何となく安心だな」と思ってもらえたら、さらに嬉しいです。面白い話があって、いつも来てくださるおばあちゃんが病気になり、お嫁さんが別の薬局で買った薬を飲ませたそうです。後日、おばあちゃんが薬局を訪れ、「この前の（よそで買った）薬はぜんぜん効かなかった。やっぱり山口薬局の薬じゃないとだめだわ」と。調べてみたら、うちで渡していた薬と同じでした。要は気の持ちようで、それこそが患者さんにとっての安心感であり、私たちの存在意義なのだと改めて感じました。

―コロナ禍で変化した（取り組んだ）ことは。

山口社長　福島県から委託された新型コロナウイルス感染症の検査を各店舗で実施しました。定性検査（抗体検査）だけでなく、PCR検査も提供しました。予想に反して多くの地域の皆さんにご利用いただきました。現在も薬局の取り組みとしてPCR検査と定性検査の体制を維持しています。体調に異変を感じた場合はぜひ、ご利用ください。検査提供はコロナ禍によって薬局に求められる役割の一つになったと感じています。

山口社長から業務内容について説明を受ける山口さん

―社員の福利厚生や健康経営について教えてください。

山口社長　社員は定期的に健康診断を受けていますが、診断後も担当者によるフォローアップを継続的にしっかりやっています。必要とあれば再検査等の判定が出た社員に対して受診勧奨を行っています。また子育て支援手当を支給し、こどもの送り迎え、体調不良などにも対応できるように勤務時間やシフトを考慮しています。少しでも働きやすい環境を整えることが必要であり、スタッフには会社で働いている時間が「楽しい」と感じてもらえるよう、雰囲気作りを大切にして会社運営に取り組んでいます。

―今後のビジョンや夢をお聞かせ願えますか。

山口社長　電子処方箋や服薬指導（薬を渡す際に処方された薬の飲み方など留意していただくことを説明する）後のフォローや支援、オンラインでの服薬指導、ドライブスルーの増設などに積極的に取り組んでいきたいです。薬局事業を通して地域住民の健康増進に寄与し、最終的には郡山市民の健康寿命の延伸に貢献できればと考えています。

―かかりつけ薬局の機能は、元気な長寿社会や健康寿命の延伸に大いに役立つと考えています。まだまだ活用されていないのが現状ですが、山口薬局さんが郡山、いや福島全体を引っ張っていくことを期待しています！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.3

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

クリエーターには創造的な個性と意欲が必要
誰もがワクワクする楽しくて面白い会社を目指す

代表取締役
山本（やまもと） 裕行（ひろゆき） 氏

株式会社ライクス

福島市南沢又河原前11
TEL.024-557-8053
https://like-s.jp

キャラクターが人気の伊達市観光物産交流協会の動画

山口　今回はライクスさんにお邪魔しています。ここを選んだ理由は未来を感じたからです。山本社長、まずは業務内容について教えてください。

山本　官公庁や団体、企業、総合病院、店舗などのホームページの企画立案やデザイン制作、ウェブシステム開発、マーケティング、ユーチューブ用の動画、ポスターやチラシ、パンフレットの制作など、幅広く手掛けています。

山口　ホームページを制作する際に心掛けていることは。

山本　今や世界はグーグルが牛耳っていると言っても過言ではないので、ホームページは基本的にはグーグルの考え方に沿って作っています。また、スマホ、タブレット、パソコンとそれぞれ異なった画面サイズでバランスよく、美しく見せる必要があります。

山口　クリエーターにとって大切なこと、必要なことは。

山本　人間的な個性と意欲が必要だと感じています。技術的なことは学ぶ意欲があれば何とでもなりますが、本来持っている個性は学ぶことでは習得できないと考えています。制作に対する意欲、いいものを作りたいという意欲が大きければ大きいほど、他の誰もが思い付かない素晴らしい企画やデザインに結び付くと思います。

山口　コロナ禍で変化したことはありますか。

山本　弊社も例に漏れず働き方が変化し、コロナが落ち着いた現在でも申請があれば在宅勤務を認めています。パソコンさえあれば、いつでもどこでも仕事はできるので。ただし細かい打合せが必要な場合は出社してもらいます。ウェブで打合せが可能になったことで、首都圏の企業などからホームページ制作やシステム開発についての問合せが増えました。我々のような地方の制作会社の方が費用を掛けずに済むからでしょうが、画面を通してだけのコミュニケーションではお互いが納得したものは作れないとの思いから、残念ながらお断りするケースがほとんどです。

山口　働き方改革などは進んでいますか。

山本　残業は極力しないようにしています。制作会社としては珍しいのですが、基本的に1日8時間で業務を進めるよう心掛け、当然のことながら年に一度は健康診断を受けています。座りっぱなしの作業なので一時期、3時にラジオ体操を行っていましたが、長続きしませんでした。健康経営や福利厚生など、今後は社員と話し合って進めていきたいです。

山口　今後のビジョンをお聞かせください。

山本　クリエイティブな仕事が基本なので、社員も得意先の皆さんも誰もがワクワクする、楽しくて面白い会社を目指したいと思います。締め切りが迫り、仕事に追われて楽しめないこともありますが、全員が常に趣味＝仕事というふうになれれば職場環境も明るくなり、必然的にお客様も付いてきてくれるはずです。いい仕事をするとお客様からの紹介によって新規のお客様が増えていき、たいへん有難いことだと感じています。

山口　若者が首都圏に行かず地元に残る理由は、何事にもセンスが大事だということです。そういう意味では山本社長、ライクスさんは文化を築いてらっしゃる。若者が定着する福島県のために、今後も県内のデザイン界を引っ張っていく存在であり続けてください。期待しています！

山本社長からホームページについて説明を受ける山口さん

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.4

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

ヤクルトレディを通じて地域の方々の健康をサポート
健康教室や出前授業で参加者がおなかについて楽しく学ぶ

代表取締役
中原 雅夫（なかはら まさお）氏

郡山ヤクルト販売（株）

郡山市安積2-200
TEL.024-945-8960
https://www.koriyama-yakult.co.jp/

ヤクルト創始者・代田稔氏の像

山口　1935年の発売以来、多くの人に愛され続けるヤクルト。今回はヤクルト製品を取り扱っている郡山ヤクルト販売にお邪魔しています。まずは業務内容について、中原社長にお聞きします。

中原　乳製品や乳酸菌飲料などの卸売り販売が生業で、ヤクルト本社から製品を仕入れ、ヤクルトレディを通じて皆様にお届けしています。スーパーやコンビニなどに納品するほか、教育機関や企業の給食用にも納めています。

山口　おすすめの商品は。

中原　宅配専用の「ヤクルト1000」と店頭商品の「Y1000」です。1㎖あたり10億個と、ヤクルト史上最高密度の〝乳酸菌シロタ株〟を含んでいます。乳酸菌シロタ株はヤクルト創始者で医学博士の代田稔が発見し、強化培養された乳酸菌の一種です。製品の特長は腸内環境を改善するほか、「ストレス緩和」や「睡眠の質向上」の機能があると報告されています。

山口　ヤクルトレディの皆さんはどのような存在ですか。

中原　ヤクルトレディはヤクルト事業の根幹をなします。1963年から全国で採用した独自の婦人販売店システムで、今年は誕生60周年の記念の年です。ヤクルトレディは食品衛生や商品の基礎知識、お客様へのマナーなどの研修を受けて製品をお届けしています。〝地域の顔〟や〝歩く広告塔〟でもあるので、非常に重要な存在です。近年は子育て中の方が安心して働けるように職場内に保育室を設置し、サポートしています。

山口　地域貢献活動について教えてください。

中原　2014年から地域にお住まいの方々を対象に健康教室を開催しているほか、小学校に出向いて出前授業も行っています。食育事業は企業色を出さず、おなかの健康について人体模型やうんちの模型などを使って、参加者が楽しみながら学んでいます。お陰様でコロナが落ち着いた現在、過去に実施した団体様から再度の申込しもあります。

山口　コロナ禍で変化したことはありますか。

中原　お客様の自宅への訪問が制限され、各事業所への訪問も自粛せざるを得ない状況が続きました。ヤクルトは対面でのお届け・販売が中心なので、コロナ禍での活動は非常に厳しいものがありましたが、お届けを希望されるお客様もいらっしゃいましたので、マスク着用や手指消毒など感染予防対策を徹底し、可能な限り製品をお届けしました。

山口　働き方改革や職場環境改善などの取組みは。

中原　弊社は多くの女性が、それぞれの職場で活躍しています。特にヤクルトレディが所属するセンター（営業所）では職場環境の改善に取り組んでおり、トイレや化粧室のリニューアル、出入口の扉の自動ドアへの交換、さらには配達用の電気自動車の導入も段階的に進めています。

山口　今後の夢やビジョンをお聞かせください。

中原　ヤクルトを通じて地域の皆さま、そして日本国内に留まらず、世界の人々の「健康で楽しい生活づくり」に貢献していきたいです。

山口　ヤクルト製品やヤクルトレディの皆さんが、健康な毎日を送りたいと願う人々にとって、必要不可欠な存在だということが分かりました。予防医学や健康寿命延伸にもつながり、今後の皆さんの活躍に大いに期待しています！

中原社長からヤクルト製品について説明を受ける山口さん

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.5

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

代表取締役
熊谷（くまがい） 努（つとむ） 氏

（株）アーバンライフ

郡山市富田町字上西田29-1
TEL.024-961-2900
http://www.bm-urban.com

日々の清掃作業に取り組むスタッフ

お客様とのコミュニケーションを大切に
コロナ禍以降は美観的な清掃から衛生的な清掃へ

山口　建物内の快適な環境を維持するためには清掃作業は欠かせません。今回は『快適環境を創る』を合言葉に仕事に励むアーバンライフさんにお邪魔しました。まずは業務内容について、熊谷努社長にお聞きします。

熊谷　医療機関や介護施設、旅館やホテルなどにおいて、ビルメンテナンス業の中の建物清掃、空気環境測定、貯水槽の清掃、害虫防除、施設内警備を中心に行っています。

山口　業務を請け負う上で大切にしていることは。

熊谷　第一はお客様とのコミュニケーションですね。建物は完成したばかりの時期と数年、数十年経過した時期とでは、オーナー様の悩みや要望が変わってきます。その声を聞いて、その時に合った提案をして、少しでも長く快適に建物を使っていただけるお手伝いをしていきたいと思っています。もう一つはスピーディな対応です。お客様からの急な依頼や要望の中には苦情もありますが、いずれにしても迅速に対応し、お客様に〝弊社は便利だ〟と思っていただけるように心掛けています。

山口　コロナ禍で変化したことはありますか。

熊谷　一時期、仕事のなくなった旅館・ホテルの担当スタッフに対するケアが大変でした。病院や介護施設はコロナ禍でも仕事はありましたが、旅館やホテルは、つい最近まで仕事が激減していました。コロナ給付金などである程度の給与補償はしていましたが、弊社の旅館・ホテル担当スタッフは「家で暇を持て余すより、外に出て仕事がしたい」という理由で働いている方が一定数いましたので、一時的な仕事を作ったり、病院や介護施設で従事できるようにし、「仕事がないなら辞める」と言われないように気を配りました。

山口　清掃の考え方や方法も変わったそうですね。

熊谷　これまでと異なり、美観的な清掃から衛生的な清掃へ変化しました。病院や介護施設では以前から実施していましたが、弊社では日常的な清掃の仕様書を作成する際、検査キットを使って目に見えない汚れが多い場所を特定した上で、清掃回数や方法などを提案しています。例えば、ある施設では授乳室のドアノブが一番汚れているという事実が判明しました。コロナ禍以降は病院・介護施設以外の建物でも同じように提案するようにしています。

熊谷社長から清掃業務などについて説明を受ける山口さん

山口　働き方改革は進んでいますか。

熊谷　社員や清掃スタッフの意見を聞いて、有給の取得推進や残業の削減、育児休暇後の仕事内容・勤務時間の見直しなどを行っています。

山口　今後の夢やビジョンについて教えてください。

熊谷　協力会社に依頼している設備の管理や保全業務などの分野を自社で請け負えるようにしたいと考えています。社員が様々な知識や経験を蓄積し、理想はお客様からどんな些細なことでも「とりあえずアーバンライフに相談しよう」と思っていただけるようになれば嬉しいですね。

山口　同業他社などライバルがたくさんいる中で、お客様の無理難題な要望にも迅速に対応できる総合的なメンテナンス企業になれれば鬼に金棒です。まだまだ若い熊谷社長ですから、理想の会社を実現させるべく、社員やスタッフの皆さんと一致団結して頑張ってください。今後の活躍に期待しています！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.6

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

「2024年問題」への対応を強化
若い人たちが憧れる建設業界を目指す

福島営業所統括所長
日暮 直孝（ひぐらし なおたか）氏

（株）安藤・間（安藤ハザマ）

郡山市富田町字大徳1-8
TEL.024-962-9862
https://www.ad-hzm.co.jp

安藤・間が手掛けた
南東北創薬・サイクロトロン研究センター

山口 今回は、私たちの生活に欠かせない道路や病院などの建築物を手掛ける安藤・間さんにお邪魔しています。まずは福島営業所の日暮直孝統括所長に業務内容や企業理念についてお聞きします。

日暮 弊社は東京都港区に本社、全国に7支店、海外にも東南アジアを中心に拠点があります。福島営業所は仙台市にある東北支店の管轄で、福島県内において国や県などの官庁工事、民間の土木工事や建築工事の営業活動を行っています。企業理念は①ものづくりを通して、社会の発展に寄与②確かな技術と情熱で、お客様満足を追求③新たな価値を創造し、豊かな未来を実現―の3つです。

山口 今年は合併10周年だそうですね。

日暮 建築が強い安藤建設と土木で有名な間組がシナジー効果を狙って合併してから早10年が経ちました。大型の建築物では、郊外の大型ショッピングモール（埼玉県）などの商業施設、南東北グループの新百合ヶ丘総合病院（川崎市）などの医療福祉施設、土木では東京外かく環状道路本線トンネル工事（東京都）や津軽ダム本体建設工事（青森県）などを手掛けています。

山口 福島県内での工事は。

日暮 建築では公立岩瀬病院産婦人科診療棟や南東北創薬・サイクロトロン研究センターなどの医療福祉施設、私立高の校舎などの教育施設、民間企業の宿泊施設や事務所、官公庁庁舎など多岐にわたります。土木では、ふくしま復興再生道路一般国道399号十文字工区の十文字トンネル工事（いわき市）や藤沼ダムの復旧工事（須賀川市）などです。また、東日本大震災発生後に東京電力福島第一原発の復旧にも携わりました。

山口 コロナ禍で変化したことはありますか。

日暮 クラスターの発生を防ぐため、消毒機器や飛散防止シートなどを各所に設置したり、体調の異変を感じたときにすぐにチェックできるよう検査キットを常備しました。WEB会議も増え、パソコン操作が苦手だった私も機械の扱い方が上手になりました。皮肉なものですね。

山口 働き方改革は。

日暮統括所長から建設業界の課題などを聞いた山口さん

日暮 建設業界は来年度から時間外労働時間に罰則付きで上限が設けられる「2024年問題」に対応しなくてはなりません。移動時間の削減を目的としたWEB会議の実施やノー残業デーの徹底、計画有給6日以上の取得など、時短や休日取得については社員の意識改革が必要です。

山口 福利厚生などは。

日暮 家族が要介護1以上になった場合の介護手当、遠距離介護用の旅費の支給（月1回）などがあります。建設業界特有だと思いますが、別居手当や帰省旅費（月3回）なども支給されます。育児休暇や介護休暇なども充実し、福利厚生は手厚いです。

山口 今後の夢やビジョンを教えてください。

日暮 建設業界は高齢化が進んでいるので、若者が魅力を感じるような業界を目指したいと思います。また福島県内は東日本大震災後の復旧と復興が課題です。会津地方や中通りも含めて、建設の力で元気にしたいと考えています。

山口 建設業には大きな可能性があり、ゼロから作り出すという魅力もあります。若い力と共に、福島県の発展に貢献していただきたいと切に願います。頑張ってください！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.7

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口和之
（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

お客様に寄り添い、理解し、課題を共有することで、経営や業務における課題解決につなげる

福島支社長
手島（てしま） 幸治（こうじ） 氏

リコージャパン㈱

郡山市鶴見坦2-18-5
TEL.024-927-5590
http://www.ricoh.co.jp

リコージャパン福島支社の新社屋

山口　今回はビジネスシーンで活躍する複合機などを扱うリコージャパンさんにお邪魔しています。まずは企業理念や業務内容について手島幸治福島支社長にお聞きします。

手島　リコーグループの中で「オフィス+リモートではたらく人の課題解決／現場ではたらく人をつなぐ課題解決」という価値を提供しているのがリコージャパンです。複合機やプリンター、ソフトウェアなどの販売だけでなく、保守サービスや経営・業務の課題を解決するデジタルサービスを通じて、企業価値と生産性の向上を実現し、持続可能な社会づくりに貢献しています。福島県内には福島・郡山・いわき・白河・会津に事業所があり、在籍社員の約9割が県内出身者です。

山口　お客様と接するうえで大切にしていることは。

手島　ビジネスコンセプトに『お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出する』を掲げています。お客様を理解し、課題を共有することで、経営・業務の課題解決の提案につなげ、企業価値を高められるように努めています。

山口　SDGsの取り組みについて教えてください。

手島　当社では事業とSDGsの同軸化に取り組んでいます。実践している活動として「製品・サービスを通じてお客様と進めるSDGsへの貢献」と「自社+パートナーと取り組むSDGsの貢献」が挙げられます。お客様とともに経済・社会・地球環境のバランスの保たれた持続可能な社会に貢献し、〝はたらく〟歓びの実現を目指します。

山口　社屋を新しくされたそうですね。

手島　震災での安全衛生面の問題と働き方の変革により、BCP（事業継続計画）とES（従業員満足度）の観点から建て替えを実施しました。『働きやすさ・環境配慮・地域貢献』の3つを軸にした事業所として誕生しました。

山口　コロナ禍で取り組んだことはありますか。

手島　社員と家族の安全と安心を守ることや、お客様から求められるサービスや製品の継続的提供のため、対策プロジェクトを立ち上げました。テレワーク推進による人事制度の整備やルール変更による業務の効率化、感染状況に応じた「ガイドライン」の提供など、産業医の先生方の専門知識を交えながら最優先にコロナ対策を講じてきました。

山口　働き方改革や福利厚生などについて。

手島　時間年休や育児介護フレックスタイム制など様々な勤務形態を導入しています。社員全員にパソコンやスマートフォンを貸与し、外出時のデータ通信料の上限をUPするなど、どこにいても仕事ができる環境を整えました。福利厚生では社員の健康に配慮した健康経営に取り組み、戦略マップを基にした定期健康診断の全社員受診のほか、全国どこでも同等の健康サポートが受けられる産業保健体制なども整備しました。

山口　今後のビジョンをお聞かせください。

手島　福島県の未来のためにお客様に寄り添い、事業拡大のお役に立ち、地域社会に貢献し、いつまでも愛され続ける企業を目指します。

山口　お客様に寄り添い、課題や問題点をともに解決しようとする姿勢に感銘を受けました。これからも取引先や地域の発展のために頑張ってください。応援しています！

手島支社長から健康経営などについて学んだ山口さん

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.8

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

安心安全な運転や細やかなサービスを心掛ける 人材確保に努め、女性ドライバーの採用を目指す

代表取締役
安藤（あんどう） 一成（いっせい） 氏

フタセ交通㈱

郡山市田村町金屋字川久保26-1
TEL.024-943-1011
https://futase-koutsu.com

フタセ交通が保有するタクシー・ハイヤー車両

山口　市民の足として欠かせないタクシーですが、最近は高級車両も配備され、移動自体を楽しめるようになりました。今回はフタセ交通の安藤一成社長にお話を伺います。まずは事業内容や企業理念などについて教えてください。

安藤　一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー・ハイヤー）と一般乗合旅客自動車運送事業（乗合タクシー）を行っています。現在、ドライバーは76名、車両は43台保有しています。企業理念は『タクシー事業を通じて地域の皆様の安全と安心を、笑顔で人に優しく人と社会のお役に立てる公共交通機関』です。

山口　お客様と接する上で大切にしていることは。

安藤　タクシーは様々な方が利用します。対応も様々で、お客様に合わせることを大切にしています。安心安全な運転を心掛け、初めてのお客様にも信頼されるよう努めています。適切なコミュニケーションや清潔な空間づくり、そしてタクシードライバーとして日々、人間力を高める勉強に取り組んでいます。

山口　コロナ禍で変わったことやニーズの変化は。

安藤　まずは感染対策です。手洗いやマスク、自動体温測定機、家族の感染者の確認、ドライバーの健康チェックなどを常に行っています。限られた車内空間で、距離をとることや接触を減らすことは難しいですが、全国的に見てもタクシードライバーの感染者数は低い傾向にあります。ありとあらゆる感染防止策が今も習慣となり、車両の清掃や美化につながっています。コロナ禍でのニーズに対応するため「お手伝いタクシー」を始めました。品物のお届けや受取りなど細かな要望に応えるべく、お客様の足となり、たいへん喜ばれました。

山口　2024年問題への対応や人材確保については。

安藤　2024年問題としてまずはライドシェアがあります。具体的なことは決まっていませんが、色々な議論が出てくるでしょう。人材不足で繁忙期などは供給不足に陥りますが、タクシー会社には供給責任があります。悪天候などでは100%カバーできませんが、最大限の範囲で供給しなくてはなりません。今年の最大のテーマは人材確保、特に女性ドライバーの採用に力を入れたいと思います。

ハイヤーの乗り心地を確かめる山口さんと安藤社長

山口　働き方改革や社員の福利厚生などはいかがですか。

安藤　4月から拘束時間や休憩時間の一部が変更され、改善基準の対応と併せて規則の見直しや変更を早めに済ませたいと思っています。健康診断は年に2回行っており、産業医の診断のもと、一人一人に健康指導をしています。希望者には脳ドック検診を実施し、前回は3名の社員が再検査となりました。早めの対応ができ、受診した社員からは大変感謝されました。脳ドックは今年も検討しています。

山口　今後の夢やビジョンをお聞かせください。

安藤　タクシーを通して社会貢献をしっかりやっていきたいと思います。タクシーに公共性を持たせることで細やかな対応ができ、地域の方々の交通の利便性確保や向上につながると考えます。また交流人口も増え、人に寄り添う交通インフラが整うことで生活がより豊かになるでしょう。

山口　超高齢社会の日本では交流人口の増加が様々な課題解決につながっていきます。政治・行政は高齢者に配慮した地域交通の重要性を再認識すべきで、フタセ交通さんには大いに期待しています！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.9

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

医療・福祉業界支援に特化し、あらゆる業務を行う総合商社
感謝の気持ちと謙虚な姿勢で、何事にも取り組む

東北支店長
茂木（もぎ） 広明（ひろあき） 氏

ワタキューセイモア㈱

郡山営業所/郡山市富田東一丁目440
TEL.024-991-7317
https://www.watakyu.co.jp/

需要が伸びている入院セット

山口　病院運営には協力企業のサポートが欠かせません。今回は京都府に本社・本部を置き全国展開しているワタキューセイモアの茂木広明東北支店長にお話を伺います。まずは事業内容や経営理念などについてお聞かせください。

茂木　一言でいうと医療・福祉業界に特化し、この分野のあらゆる業務を行う総合商社です。医師や看護師が医療本来の仕事に専念できるよう、その他の全ての業務に従事しています。経営理念は基本方針の社是の〝心〟を最も大事にしています。「お客様に仕事をさせて頂いている」などという感謝の気持ちと謙虚な姿勢で、何事にも取り組むことが大切だと考えています。

山口　様々な事業展開の中で特に力を入れていることは。

茂木　患者さん用の入院セットです。衣類やタオル、歯ブラシなどの日用品や紙おむつを日額制で提供しています。良いサービスだと徐々に認知され、導入を検討されている患者さんが大勢います。

山口　コロナ禍で変わったことやニーズの変化は。

茂木　事務部門や営業部門を中心にITの活用を強化し、システムを構築。リモートでの会議や商談、在宅勤務などを実施しましたが、改めてお客様と対面で商談することの大切さを実感しました。ニーズの変化として、コロナ禍では病院内で洗濯物を一次消毒する余裕がなく、感染拡大防止の意味合いも兼ねて、コロナ感染専用の集配車で不潔物を回収するようにしました。二次感染を防ぐため、回収物を専用の倉庫に一旦保管し、当社で消毒してから洗濯するという対策を取りました。

山口　採用や人材育成に力を注いでいるそうですね。

茂木　人材確保は会社の存続に関わります。東北地方は10年後に人口が約134万人も減少すると言われており、新卒の高校生や大学生は勿論のこと、障がい者や外国人技能実習生を積極的に雇用しています。採用も必要ですが離職者を出さないことが最も大切だと考えています。本部には社是にちなんだ研修センター「一心館」があり、新入社員らがビジネスマナーや業務知識の習得に励んでいます。

山口　働き方改革や社員の福利厚生などはいかがですか。

社是を掲げる茂木支店長と山口さん

茂木　働き方改革については洗濯工場であれば省人化に対応した機械への入替え、生産性向上のためのリネン資材の入替えや資材集約化を進めています。事務作業を自動化するためRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を試験導入しています。福利厚生は育児支援制度「パパママサポート」があり、出産日から1年間は紙おむつとおしりふきを無料で提供しています。保育事業「こころキッズ」では複数の事業所に保育ルームを設けています。男性社員の育休取得も増え、昨年に「くるみん認定」を取得し、公に「子育てサポート企業」として認められました。

山口　今後の夢やビジョンをお聞かせください。

茂木　少子高齢化による労働力不足や、さらにその先の高齢者人口さえも減る時代においても、当社の事業である医療と福祉は決してなくなることはないでしょう。未来に渡ってお客様に選ばれる会社、若い人たちが希望を持てる会社にしたいと思います。

山口　患者さんが快適に、医師や看護師が最大限に力を発揮できるのはワタキューさんの企業努力のお陰です。これからもよろしくお願いします。

好評連載中!

山口和之さんの いき いき 企業探訪

Interview vol.10

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

24年ぶりのリニューアルで化粧品や食品を強化
物産展開催で旅せず全国各地の名産品を満喫

代表取締役社長
横江 良司（よこえ りょうじ）氏

㈱うすい百貨店

郡山市中町13番1号
TEL.024-932-0001
https://www.usui-dept.co.jp

リニューアルした化粧品売場

山口　今回は「みんなのデパート」「夢のデパート」のCMでお馴染みのうすい百貨店さんにお邪魔しています。まずは企業理念などについて横江良司社長にお伺いします。

横江　1662年に初代・薄井小七郎が現在の郡山市中町に移住し、物産問屋を始めました。今年で創業363年を数えます。企業理念は「わたしたちは地域に根ざし、地域と共に繁栄し、地域に貢献します」で、福島県唯一の百貨店として歩み続けています。

山口　館内のリニューアルを進めていますね。

横江　現在の建物がオープンした1999年以来、24年ぶりです。昨年から来年の年明けまでおおよそ1年半、順次進めます。コンセプトは『働く女性と地元3世代ファミリーが夢と幸せを感じる店』で、ポイントは①豊かで上質なライフスタイル提案型のショップの導入②化粧品強化③食品強化④地域の皆様がくつろげるスペースをアトリウムとして新設―の4点です。

山口　日本各地の物産展を積極的に開催しています。

横江　物産展強化には2つの理由があります。1つ目はアパレル（衣料品）の不振と食品（特にスイーツ）の好調です。アパレルは若年層を中心に、買うのではなくリユース（中古品）やサブスク（定額レンタル）で衣服を着用するのが主流となり、大きく売上を落としています。一方、食品は日々の生活の高度化と多様化、健康志向の広がりとともに、高級食材や美と健康に良い影響を与える食材などが好調を永続しています。

　2つ目は、食品の中でも特にスイーツや総菜の好調、何より各地のブランド商品の人気の高さです。日本全国を旅せずに、ご当地の名産品が一堂に会する物産展は、お客様にとって新鮮で楽しい、興味を抱く面白い催し物であり、これを強化しない手はありません。年3回開催の北海道展がいちばん喜ばれています。

山口　通販やネットショッピングに対抗する手段は。

横江　大手と違って我々のような地方の百貨店が単独・自前で通販などをやるには身の丈を超えたシステム投資やITに長けた人材が必要で、あまり現実的ではありません。

アトリウムで笑顔を見せる横江社長と山口さん

コロナ禍が下火になり行動制限のない今、リアル店舗での体験型ショッピングや、本当の意味でのショッピングの持つ楽しさや面白さ、豊かさなどを実感してもらい、勝機をつかみたいと考えています。

山口　働き方改革や社員の福利厚生などはいかがですか。

横江　育児・介護短時間勤務や70歳まで雇用延長、管理職全員にスマートフォン貸与、また昨年より新たに導入した年間7日間の店舗一斉休業日など、様々な施策を導入していますが、生産性向上に寄与するところまでは見えておらず、課題は残っています。

山口　今後の夢やビジョンをお聞かせください。

横江　時代と環境の変化を受け、百貨店業態に固辞せず、地域の皆様に支持され、地域に貢献できる県民百貨店であり続けたいです。少子高齢化の中、首都圏や仙台圏との都市間競争を生き抜くためには、中心市街地の活性化は喫緊の課題と感じており、関係者の皆様と一緒にまちづくりを進めていきたいと思います。

山口　交流人口増加に必要な中心市街地や駅前の活性化はうすい百貨店さんにかかっていると言っても過言ではありません。期待しています！

好評連載中!

山口和之さんの いき いき 企業探訪

Interview vol.11

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

小・中・高の一貫学習指導で生徒の夢達成を実現
難関大合格実績アップ、学習環境を整え地域貢献

代表取締役社長
細谷（ほそや） 雄次（ゆうじ） 氏

ベスト学院㈱

郡山市朝日1-13-2
TEL.024-934-3330
https://www.bestgakuin.co.jp

「三分間のこころざし」の教本

山口 今回は〝14年連続東大現役合格〟を誇る進学塾のベスト学院さんにお邪魔しています。まずは業務内容や指導方針などについて細谷雄次社長にお伺いします。

細谷 進学塾を県内で50教室以上、茨城・栃木エリアで4教室を展開しています。「小・中・高の一貫学習指導」により、志望校に合格させることを第一に考えています。知育教育だけでなく徳育教育にも力を入れたり、SDGsの観点から「美しい地球環境を守るNPO」に参加したりしています。21世紀の真のリーダーや社会に貢献できる人財の育成を目指し、生徒の夢達成のために講師陣、社員全員が全力で取り組んでいます。

山口 ベスト学院の特徴を教えてください。

細谷 徳育教育では授業は礼・黙想から始まり、礼で終わります。授業開始時には偉人の名言やことわざ、論語を学ぶ「三分間のこころざし」を実施し、他への感謝の心や人間力の育成に力を入れています。文系・理系、それぞれの専任プロ講師による生徒と講師の対話型の「QOA（コア）授業」はオリジナル講義形式で、ポイントを絞った学習により理解度が上がり、学校の予習型で進めるので効率よく学ぶことができます。近くにある通いやすい塾、正社員講師による安心感ある指導も特徴です。

山口 最近の子どもたちはどのように感じますか。

細谷 県立高校は定員割れがあり、勉強しなくても高校に入れるという雰囲気を感じます。難関大学を目指すとなると高校での勉強量が増え、大学入学共通テストは難易度が上がっているので、中学生のうちからしっかり学習する習慣を身につける必要があります。継続して量と質を維持することが必要です。ICT機器での学習を進めている生徒向けにAIによる新たな学習方法（atama+）を開始し、時代の変化にも対応しています。

山口 いよいよ来年4月に県立安積中学校が開校します。

細谷 県立安積中は定員60名で、その分、安積高の定員が280名から220名になります。安積高の合格者数のシェアを維持するには、中学からの合格者数を増やす必要があり、我々も中学受験に力を入れざるを得ません。中学受験の熱は上がっていますが、高校進学後は先取り授業をしない（高校合格者と同じ学習内容）予定で、難関大学合格実績の増加につながるかは疑問が残ります。私塾として中学からの先取り学習を進め、県内の難関大学合格実績増加に貢献したいと思います。

山口 働き方改革や社員の福利厚生などはいかがですか。

細谷 塾は放課後から夜がメインの仕事です。その為、22時終業後に残業をしない仕組みをつくるなど、少しずつ改革を進めています。産業医の指導を受け、社員の体調管理や健康維持にも努めています。

山口 今後の夢やビジョンをお聞かせください。

細谷 ベスト学院の県内在籍シェアは6%程度なので、県内での影響力はまだまだですが、私塾の使命として生徒たちの学力の底上げをしていきたい。更に難関大学の合格実績を上げ、小学生のうちからしっかり勉強できる環境を整え、地域に貢献したいです。

山口 公立学校などとは異なり、特色のある質の高い学習機会を提供することが私塾の強みです。県内の子どもたちの学力向上を目指して頑張ってください。応援しています！

細谷社長から進学塾の現状を学んだ山口さん

好評連載中！

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.12

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

お客様の意見や要望には素直に耳を傾ける ホームページやSNSの拡充でファン獲得を目指す

営業開発部取締役部長
須藤 赳（すどう たけし）氏

（株）ウェルズホーム

郡山市富田東一丁目310
TEL.024-936-0660
https://www.wells-home-web.com

ダルメシアン柄がトレードマークの本社ビル

山口　今回は住宅業界で躍進を続け、個性的な企業CMやダルメシアン柄のトレードマークなどでお馴染みのウェルズホームさんにお邪魔しています。まずは業務内容や企業理念などについて須藤赳部長にお聞きします。

須藤　当社は福島県をエリアとする地場のハウスメーカーで、ローコスト・ハイパフォーマンスで寒さに強い北海道型住宅の建築・販売を行っています。2001年の創業以来、2千棟以上の住宅を手掛け、年間施工数でも県内トップクラスを誇っています。お客様のご意見やご要望には素直に耳を傾け、地域社会に密着した企業となることを目標に掲げています。

山口　御社が手掛ける住宅の特徴、一番の売りは。

須藤　全ての商品が寒冷地仕様の住宅として断熱性・気密性・遮音性に優れ、夏は木陰のように涼しく、冬はぽかぽか温かく、各部屋の温度差がないという理想的な住まいです。断熱性能を高めようとすると自由設計ではどうしても間取りの制限が出てしまいますが、当社の手掛ける住宅はどのような間取りでも高い断熱等級（住宅の断熱性能を示す指標）を取ることが可能です。また、最近は記憶に新しい能登半島地震のように日本各地で地震が頻発していますが、地震に対する建物の倒壊・損傷しにくさを表す耐震等級は、耐震基準の1・5倍の地震の力に耐えられる最高等級の『3』が標準仕様となっています。

山口　最近の顧客ニーズの傾向を教えてください。

須藤　国の施策で性能の高い住宅を建てようという動きが広まっていることもあり、お客様は価格も重要ですが、性能を重視する傾向が強くなっているように感じます。入居までのスピード感を重視されるお客様も多く、建売住宅に関する需要も増えています。

山口　コロナ禍で取り組んだこと、苦労したことは。

須藤　リモートによる協力企業との打ち合わせやお客様との商談が主になり、完成見学会は他の見学者と接触しないように完全予約制で実施しました。住宅販売はお客様とのコミュニケーションが最も重要と言えるのですが、感染拡大防止のために会いづらくなったことが一番苦しかったですね。資材の高騰による価格変動も大変でした。

須藤部長から住宅業界について学んだ山口さん

山口　働き方改革や社員の福利厚生などはいかがですか。

須藤　各部署で上長による社員のスケジュール管理や体調管理などを徹底しています。コロナ禍もあり無理をせず、計画的なリモート勤務などを最大限に活用するよう指導しています。

山口　今後の夢やビジョンをお聞かせください。

須藤　何もしなくてもホームページやSNSなどを見て来場していただけるファンの獲得を目指しています。これまで以上にウェルズホームの知名度をアップさせ、福利厚生の充実などにより就職活動する学生らにも魅力ある企業として捉えていただき、若い人材の獲得で社員の平均年齢を下げたいと思います。

山口　住宅業界は少子化や人口減少という大きな問題の中で、大手や地場を含めて多くの企業が生き残りをかけて鎬（しのぎ）を削っています。ウェルズホームさんには福島県の企業として、他社とは違った高性能住宅や新たなアイデア・発想を武器に、地域に貢献していただきたいと思います。頑張ってください！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.13

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

代表取締役社長
前田（まえだ） 泰彦（やすひこ） 氏

ALSOK福島㈱

郡山市喜久田町字松ヶ作16-98
TEL.024-959-1800
https://www.fukushima.alsok.co.jp

現金などを指定の日時・場所に安全かつ正確に届ける

お客様の声にしっかりと耳を傾け、期待に応える各種資格取得を支援し、社員の資質向上を目指す

山口 今回は私達の生活を24時間365日、片時も欠かさず見守り続ける警備のプロ、ALSOK福島さんにお邪魔しています。まずは事業内容や経営理念などについて前田泰彦社長にお聞きします。

前田 当社はALSOKグループである綜合警備保障の子会社です。機械警備（法人・個人）や常駐警備（DX・ロボット）、警備輸送（売上金・ATM管理）、綜合管理（清掃・ビル管理）などを中心に、鳥獣対策やドローン利用サービス、盗聴・盗撮調査、大規模イベント警備、要人警護サービスなど、様々なニーズにお応えしています。経営理念は「何事にも常に感謝の心を忘れない『ありがとうの心』と、強く正しく温かい『武士の精神』をもって取り組むとともに、社徳のある会社を確立すること」を基本精神として掲げています。

山口 お客様と接する際に大切にしていることは。

前田 我々は警備専門サービス業でスタートしましたが、お客様は警備以外にも様々な要求をされます。その要求に応えることで業務内容が自然と広がっていきました。今日のALSOKグループがあるのは、そしてここまで発展できたのはお客様に育てていただいたからこそであり、これからもお客様の声にしっかりと耳を傾け、期待に応えられるようにしたいと思います。

山口 特に力を入れているサービスや商品は何ですか。

前田 売上金の管理です。キャッシュレス化が進む中、将来はなくなるかもしれませんが、今はまだ必要です。入金機や入出金機により情報をオンラインで提供し、指定口座に立替入金する仕組みです。併せて釣り銭も準備し、これにより経営者の方々にとってはキャッシュフローが良くなり安心感が増すようです。もう一つは情報セキュリティです。現代のネット社会では個人情報を保護し情報漏洩を防ぐことは必須で、我社はプロハッカーレベルのサービスを提供することが可能です。

山口 コロナ禍で取り組んだことはありますか。

前田 率先してコロナワクチンの職域接種を行いました。工業団地の一角に本社があるので、厚生労働省とやり取りして団地の各企業も交えて進めました。助成金による感染対策商品（陰圧装置）の普及にも努めました。ALSOKグループではコロナ患者のホテル隔離の管理を引き受け、地域によっては夜の繁華街でコロナに感染しないように注意喚起する業務を請負った事業所もありました。

前田社長から警備業界について学んだ山口さん

山口 働き方改革や健康経営などは進んでいますか。

前田 残業を減らし自由時間を増やすことでメリハリがつき、勤務中の集中力アップにつながり、生産性も向上しました。各責任者には部下の日ごろの状況を常に把握するよう求めています。健康診断で再検査となった場合には直ちに検査を受けてもらい、結果を報告させています。

山口 今後の夢やビジョンは。

前田 お客様の多様な要望にも応え、一層信頼ある会社づくりをすることは勿論ですが、社員一人ひとりが活躍できる環境の構築を目指し、資格取得支援にも力を入れ、社員が仕事へのやり甲斐と充実感を得られる会社へ成長させることです。

山口 警備以外にも様々なサービスを手掛け、私達を守ってくれているのだと改めて感心しました。これからも市民のために頑張ってください。

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.14

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

省エネ運転による燃費向上で温暖化対策に貢献
運送会社の協同組合としてナンバーワンを目指す

専務理事
本田 宏（ほんだ ひろし）氏

郡山トラックセンター事業協同組合

郡山市喜久田町卸3丁目6番地
TEL.024-959-6666
https://www.109931.jp/

組合事業の柱となるガソリンスタンド

山口　私達の生活に欠かせない物流は多くのドライバーの方々によって支えられています。今回は運送会社でつくる郡山トラックセンター事業協同組合にお邪魔しています。まずは組合組織について本田宏専務理事にお聞きします。

本田　昭和49年の東北自動車道の福島県内延伸に合わせ、郡山駅前にあった運送会社が郡山IC付近にトラック団地を造成しました。車両の大型化や交通渋滞、騒音問題などを防ぐため郡山市主導で進められました。当時は郡山市内に40社ほど運送会社があり、そのうち23社が入居し、昭和63年に官公需適格組合として承認されました。主な事業は①共同運送事業②高速道路利用事業③給油所事業④倉庫事業⑤施設事業となっています。今は組合員（正会員）が20社（運送会社19社、自動車整備業1社）、主に給油所を利用していただく賛助会員が20社です。

山口　環境問題への取り組みについて教えてください。

本田　温暖化対策にはトラックの燃費向上が最大の効果となります。急発進や急ブレーキを避け、省エネ運転を目指します。燃費が1ℓ当たり百メートル伸びただけで、ものすごい省エネになります。車のキーをベルトに結び付けて車から離れる際にはエンジンを切ることや、待機時間のアイドリングストップで省エネに取り組んでいます。

山口　4月から2024年問題がスタートしました。

本田　ドライバーの年間の時間外労働時間の上限が960時間になり、これを解決するには待機時間や作業時間を短縮し、高速道路の利用で走行時間を短くするなど様々な対応が必要です。運送会社だけでは解決できない問題が多く、集荷や配送で長時間待たされたり、大量の荷物が手積み作業などのケースがまだまだあります。時間外が減ることでドライバーの給料が下がったり、高速道路の利用料が発生したりするため、輸送料金の適正化に向けて交渉を行う必要があります。

本田専務から組合事業について学んだ山口さん

山口　人材確保や社員教育は進んでいますか。

本田　ドライバーの高齢化は今に始まったことではありません。中途採用が圧倒的に多かったため、20年以上前に組合主導で高校の新卒者の雇用に向けて取り組んだことがあります。数名が採用されたのですが、残念ながら長続きせず、この取り組みは終了しました。現在はハローワークの支援などを受けて企業合同説明会を開催し、今年は2名の採用に結び付きました。

山口　社員の福利厚生や健康経営などはいかがですか。

本田　毎年夏休みに組合員の従業員向けにディズニーバスツアーを実施しています。今年は8月24日にディズニーシーへ行きます。組合員の多くが所属している福島県トラック協会の会員向けに脳検診の助成事業があり、徐々にではありますが検診を受けるドライバーが増えてきました。

山口　今後の夢やビジョンについてお聞かせください。

本田　東日本大震災の経験を活かし、行政に頼らない組合作りを目指しています。専門的な言葉になりますが、住民拠点SS※の取得、近隣給油所との連携、緊急車両カードの登録、受委託点呼の実施、中小企業組合士の資格取得などで、ナンバーワンの組合になることを目指しています。

山口　時間外労働時間の短縮や人材確保など課題も多いですが、組合発展のため、そして日本一を目指して頑張ってください。応援しています！

※自家発電設備を備えた災害時における地域の燃料供給拠点

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.15

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

「テクノホスピタリティを世界へ」の経営理念のもと ICT化やDX化の導入により人手不足問題を解消する

常務執行役員
マーケティングセールス本部
副本部長
鈴木（すずき） 伸幸（のぶゆき） 氏

㈱USEN-ALMEX
（U-NEXT.HD）

東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア
TEL.03-6820-1411
https://usen-almex.jp

USEN-ALMEXが提供する医療機関向けシステム

山口 今回はホテルや病院などで目にする受付（チェックイン）システムや自動精算機などの製造・販売を手掛けるUSEN-ALMEXさんにお邪魔しています。まずは業務内容について鈴木伸幸常務執行役員にお聞きします。

鈴木 当社は㈱U-NEXT HOLDINGSの傘下にある事業会社の1つです。1966年に創業し、宿泊施設や医療機関、ゴルフ場、アミューズメント施設向けに様々なシステムを製造・販売しているメーカーです。ホテル業界は人手不足と言われていますが、当社はセルフチェックインシステムや自動精算機を古くから提供しています。医療業界には30年ほど前から進出しており、自動精算機や受付機をはじめとした外来窓口業務の生産性を高め、人手不足解消に貢献するシステムを提供しています。現在、自動精算機は全国で約7割のシェアを誇っています。

山口 いま力を入れているサービスや商品は何ですか。

鈴木 いちばんは医療機関での『医事DX』です。当社が今まで自動精算機や受付機を中心に外来窓口業務の省力化・効率化に取り組んできたノウハウを生かし、外来窓口業務全般の見直しを行い、病院の運用全体を整備する医事DXのコンサルテーションを始めました。医療機関も人手不足が顕著ですが、医療事務派遣会社も人手不足により一部病院に業務返還するケースが出てきています。委託料は下がりますが維持が難しくなってきています。そこで我々が2日間程度かけて病院内で業務調査した上で、人員配置の見直しや運用の組み換え、患者さんの動線など、その病院様にとって生産性を高める効率の良い最適解を見つけ出し提案しています。そこにICT化やDX化を注入することで「機械がやれるものは機械でやりましょう」、「どうしても人が必要なところは人がやりましょう」というコンサルテーションを行っています。

鈴木常務から「医事DX」などについて学んだ山口さん

山口 7月3日から20年ぶりに新札が発行されました。

鈴木 業態によって濃淡ありますが、医療機関の自動精算機に限って言うと、およそ7割から8割ほどが新札に対応済みとなっています。

山口 人材確保や社員教育について教えてください。

鈴木 採用はグループ一括で行い、新卒が毎年300名程度、中途も毎年300名程度です。グループの社員教育は特に若手にフォーカスした研修が多く、自発的な学習習慣を身に着ける研修が主です。来期に向けたマネジメント研修や次期経営幹部候補の育成も行っています。

山口 働き方改革は進んでいますか。

鈴木 2017年にグループとしてはホールディングス体制となり、それ以降働き方改革に注力しており、時間や場所に制約されない働き方で生産性を上げていこうということで、スーパーフレックスタイム制度やリモートワーク制度などを導入しています。

山口 今後の夢やビジョンについてお聞かせください。

鈴木 当社の「テクノホスピタリティを世界へ」という経営理念は、最先端のテクノロジーでホスピタリティをご提供していくということで、医事DXしかり、この理念のもと、皆様に満足していただけるよう努めてまいります。

山口 人手不足に悩む我々にとってUSEN-ALMEXさんの医事DXは渡りに船です。今後の活躍に 期待しています。頑張ってください！

好評連載中!

山口和之さんのいきいき企業探訪

Interview vol.16

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

代表取締役社長
村上（むらかみ） 利勝（としかつ） 氏

㈲ミドリヤ

郡山市富久山町久保田字古町21-1
TEL.024-944-4151
http://minorinatto.com/

ミドリヤが製造する豊富な商品ラインアップ

多品種小ロット生産で、顧客ニーズに合わせた製品づくり
幻の大豆や新品種などで『地産地消』の復活を目指す

山口　日本の朝の食卓に欠かせない納豆は栄養価が高く、体調管理や病気予防にも効果的です。今回は〝スーパーフード・納豆〟を製造するミドリヤさんにお邪魔しました。まずは事業内容について村上利勝社長にお聞きします。

村上　私どもは納豆の製造と卸売業を生業にしています。1953年、初代村上吉憲が現在の郡山市中町に会社を設立しました。当時は夏場にバナナ問屋、秋から春にかけては納豆を製造していました。1970年代になって納豆製造に専念し、郡山市を中心に地元スーパーや小売店、直売所での販売と、学校や病院、ホテル、旅館向けなどの業務用に力を入れています。特に業務用では多品種小ロット生産を行っており、お客様のニーズに合わせた製品づくりをモットーにしています。

山口　福島県の皆さんは納豆が大好きですね。

村上　世帯当たりの納豆の消費額は4年連続で福島県が1位になるなど全国トップクラスです。納豆には様々な栄養素が含まれ、特にタンパク質や食物繊維、ビタミンなどが豊富です。生活習慣病や骨粗しょう症など病気の予防にも効果があり、県民の健康増進に役立てれば嬉しいですね。

山口　看板商品やおすすめ商品を教えてください。

村上　登録商標である『みのり納豆』は発売以来50年を越えました。タレもカラシも付いていませんが、根強い人気を誇っています。全国納豆鑑評会で5度の入賞を果たした『ほのか』、子供たちや保護者の強い要望を受け、学校給食向けの納豆を商品化した『おかわり』も人気です。

山口　食品を扱う上で、特に注意していることは。

村上　美味しい納豆をつくるためには納豆菌の繁殖を妨げる雑菌対策が重要です。全ての食品製造に当てはまることですが、衛生管理（洗浄・清掃・手洗い等の正しい指導・従業員の健康管理）と温度管理（製造・保管）には特に気を付けています。従業員の意識が大事なので年1回の健康診断と、衛生管理や異物・ウイルス対策等についての講習会を定期的に行っています。

山口　人材確保や社員教育、働き方改革について。

村上　総勢7名の小さな会社で、社員の皆さんに長く勤めていただいているので、人材確保に苦慮する事態には至っていません。製造現場は女性のみで、みんなバリバリ働いてくれています。蒸気のせいで夏場は暑いので7、8月は有休消化も兼ねて、工場休業日を増やすなどして疲れない働き方を目指しています。主婦の方がほとんどで、基本的に残業は〝ゼロ〟です。

山口　今後の夢やビジョンを聞かせてください。

村上　いちばんの夢は『地産地消』です。東日本大震災以前は実現していたのですが、震災後は東京電力福島第一原発の事故の影響で途切れてしまいました。いつの日か復活できるように少しずつ進めているところです。幻の大豆や新品種などを使った納豆づくりに挑戦したいと思います。脱プラスチックを模索中で、環境にも優しい納豆をつくりたい。購買意欲を掻き立てるECサイトの構築にも注力したいと考えています。

山口　納豆は美味しいだけでなく、糖尿病や心血管疾患、脳卒中などのリスクを下げると言われています。安価な納豆で病気が予防できるとなれば莫大な医療費の抑制につながるかもしれません。まさに『納豆、万歳！』ですね。

村上社長と後継者の未奈さん、山口さん

好評連載中!

山口和之さんのいきいき企業探訪

Interview vol.17

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

医療食部福島営業所長
国分（こくぶん） 和也（かずや） 氏

㈱小田島アクティ

郡山市南2丁目99
TEL.024-947-0637
https://odashima-acty.co.jp

安定物流・供給に欠かせない配送トラック

医療現場などで必要なQOL向上のための商品を提供
がん検診費用の全額補助などで社員の健康増進を図る

山口　今回は入院患者などに提供する医療食品や介護用品の販売などを手掛ける小田島アクティさんにお邪魔しています。まずは事業内容について福島営業所の国分和也所長にお聞きします。

国分　当社には医療機関や老人福祉施設などで活用される流動食や機能性食品、冷凍食品、非常食などを取り扱う医療食部と、福祉用具レンタルや介護用品部の2部門がありますが、福島県内市場では医療食部のみとなっています。

山口　企業理念について教えてください。

国分　『高齢者や健康をそこなっている方一人ひとりと親身に接し、社会から必要とされる会社でありたい』『企業市民としての自覚と社会良識をもって地域と共に歩める会社でありたい』『すべての社員が当たり前のように自分らしさを発揮できる会社でありたい』の3つを企業理念として掲げています。

山口　特に力を入れている商品やサービスは何ですか。

国分　医療や介護の現場で必要とされているQOL（生活の質）向上のための商品を提供できるよう常に心掛けています。各メーカーと協力し、プロモーション活動や情報発信にも力を入れています。医療食品に関する研修会や展示会の開催、勉強会や試食会なども積極的に行っています。

山口　食品を扱う上で、特に注意していることは。

国分　お客様に安全で安心な商品をお届けできるよう衛生管理には特に気を付けています。お客様の急な要望にもお応えできるように配送トラック6台を所有し、安定的な物流・供給に努めています。

山口　人材確保や社員教育について教えてください。

国分　どの業界でも新卒および若手の人材確保が難しい状況になっていますので、既存社員の流出を止めるべく、福利厚生の拡充や働く環境の整備、若手社員を中心とした資産形成の研修会などを開催しています。人事考課制度も見直し、職種別・役職別の目標設定と判断基準を明確化することで、労使の納得感が高まり、勤労意欲と生産性の向上につながっています。

山口　働き方改革や健康経営については進んでいますか。

国分　働き方改革ではIT活用などで業務効率化により時間外労働が削減でき、週1回のノー残業デーも設定しています。家庭への配慮として1時間単位での時間有休制度もあります。社員の健康増進については医療・健康・介護に関する無料相談、法定外検診の全額補助（胃がん・大腸がん・婦人がん）、歯科検診補助、スポーツジム法人会員補助などかなり手厚いです。

山口　老後の不安を取り除く取り組みもあるそうですね。

国分　老後資金の準備として企業年金制度の充実を図っています。退職一時金・確定拠出年金（マッチング拠出）・企業年金基金への加入などです。老後とは関係ないですが業務中の病気やけがはもちろん、私生活においても万が一の病気やけがによる入院時の費用をサポートし、従業員が安心して働けるよう4年前から環境を改善しました。

山口　今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。

国分　人生100年時代をサポートする、皆さんに必要とされる企業を目指します。

山口　がん検診の全額補助など充実した福利厚生に驚かされました。健康で元気な社員がいれば企業としては安泰ですね。これからも医療業界のために頑張ってください！

人生100年時代を見据える国分所長と山口さん

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.18

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

誕生日・記念日休暇を設けて無理なく働ける環境を整備
来店動機を高めるような地域との関係づくりを目指す

富久山店プラスゲオ店長
吉田 顕（よしだ あきら）氏

㈱岩瀬書店

郡山市富久山町八山田字大森新田36－1
TEL.024-936-2220
http://www.iwasebooks.co.jp/

食雑貨を販売する中央アトリウムスペース

山口　本屋さんと言えば色々な本が並んでいてワクワクしますが、近年は電子出版市場が賑わいを見せ、苦境に立たされています。今回は様々な取り組みで難局に立ち向かう岩瀬書店さんにお邪魔しました。まずは業務内容について吉田顕店長にお聞きします。

吉田　岩瀬書店は地元福島県に根ざして112年、書籍販売業を中心に営業してきました。富久山店は1998年に開店し、当時はワンフロア郊外型複合書店としては全国最大（1150坪）でした。書籍・雑誌以外にも映像・音楽ソフトの販売やレンタル、ゲームソフト売場も併設しています。2018年には書籍売場を大幅改装し、書籍約28万冊の蔵書の他、地域ブランドの食品や雑貨などを販売するコーナーも設けました。

山口　企業理念について教えてください。

吉田　「書店の使命は、地域文化の向上に寄与することにある。企業としての責任と同時に文化の担い手としての責任を持っていることを忘れてはならない」です。

山口　おすすめの本やサービスはありますか。

吉田　「書棚はスタッフの手が入ることで初めて形を成す」を念頭に、黒板に手書きメッセージを入れ、スタッフが皆さんに読んで欲しいと感じた本がずらりと並ぶ「おすすめ台」は、ぜひ一度ご覧いただきたいコーナーです。中央アトリウムスペースでは地域ブランドの食雑貨を扱うだけでなく、全国の珍しい食雑貨も取り揃えています。

山口　電子書籍の台頭や大手雑誌の休刊などについては。

吉田　2024年上半期の市況では紙の書籍・雑誌の販売額は5205億円（2015年比で2711億円減）、電子全体は2679億円（同年比2038億円増）で年々電子の構成比が上がっています。紙雑誌は売上減少が大きく、2015年比で1890億円減となっています。電子雑誌は横ばいか減少傾向です。インターネットでの情報取得が増え、情報誌としての役割が大きかった雑誌は休刊が相次いでいます。

山口　人材確保や社員教育について教えてください。

吉田　定着率は高く、経験豊富なスタッフが多いのは強みです。半面、若い世代の登用や世代交代などが課題となってきています。

書店の未来について語り合った山口さんと吉田店長

山口　働き方改革や健康経営については進んでいますか。

吉田　デジタル化が他業種と比べて遅れをとっている感は否めませんが、取次や出版社と連携したデジタル化は着実に進んでおり、マンパワーの軽減や業務効率化に繋がっています。結果、時間外勤務などは大幅に抑制されるようになりました。有給休暇の取得を従業員に推奨するとともに誕生日休暇やアニバーサリー休暇なども取得できます。勤務日の連続回数を考慮したシフト運用や希望休を募るなどして、スタッフが無理なく働ける環境を整えています。

山口　今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。

吉田　視点を変えればエンタテイメントとしての物語や自分に役立つ読み物の需要は、まだまだ掘り起こせると思います。書店への来店動機を高めるような地域との関係づくり、これまで書店に足を運んだことがないような方に向けた店舗運営が重要になります。

山口　インターネット全盛の時代の中で書店が生き残るのは大変ですが、アイデア次第で対抗できるはずです。今後の新展開に期待しています！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.19

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

代表取締役社長
伊藤（いとう） 武（たけし） 氏

㈱いとうフーズ

郡山市字石塚1－2
TEL.024-942-2983
http://www.itofoods.co.jp/

ドイツのコンテストでメダルを受賞した商品

『食の安全・安心』をモットーに衛生管理に重点置く
自社の特性を生かした販路開拓や新商品づくり目指す

山口 一般家庭と同じように病院食の中でも、お肉を使った料理は患者さんに喜ばれています。今回は食肉の加工や販売などを手掛ける、いとうフーズさんにお邪魔しています。まずは業務内容について伊藤武社長にお聞きします。

伊藤 食肉（精肉）や食肉加工品（ウインナー、ハム、ベーコン）を製造・加工して病院や介護施設、学校、飲食店などに納めています。会長が会津出身ということもあり、創業当初から馬刺を主力商品にしています。馬刺は郡山市では唯一、生産者から直接一頭買いし、販売しています。

山口 食品を扱う上で特に注意していることは何ですか。

伊藤 「食の安全・安心」をモットーに、衛生管理に重点を置いています。約20年前からHACCP（食品の安全性を確保するための衛生管理の手法）の考え方を取り入れました。工場も18年前に新築した際、大手ハウスメーカーと何度も打合せし、HACCPに対応できるよう、あらゆる工夫を凝らしました。ソフトとハードの両面で食品事故を起こさないよう日々改善しながら作業に取り組んでいます。

山口 おすすめの商品はありますか？

伊藤 地産地消に貢献すべく地元の豚肉や牛肉を原料に、ウインナーやハムなどの加工品を自社工場で製造しています。中でも福島牛のビーフジャーキーやローストビーフはギフト用として好評です。加工品の多くは本場ドイツの国際コンテストに出品し、金や銀メダルを受賞しています。

山口 病院食用の精肉の提供について教えてください。

伊藤 病院食に限らず、栄養士など調理のプロが考えたメニューやオーダーのイメージに少しでも近い食材を提供できるように心掛けています。肉だけでは料理にならないので、野菜や調味料などとの総合的な組合せで料理が完成するので、栄養士や調理員の皆さんのイメージに合うような商品づくりに努めています。

山口 人材確保や社員教育について教えてください。

伊藤 人材確保は現状、定年組を再雇用する形で何とかしのいでいます。定年組は技術もスピードもまだまだ中間層や若手より上なので助かっています。肉切りは技術職なので、若手には経験を積んでもらって早く定年組を追い越すぐらいになってほしいです。社員教育に関しては、日々の終礼の中でクレームに対する改善策や効率的な作業などについて話し合っています。

さらなる高みを目指す伊藤社長と山口さん

山口 働き方改革や健康経営については進んでいますか。

伊藤 学校給食が休みの時期（夏冬春休み）は作業に余裕ができ、交代で休暇を取っています。子どものいる従業員には評判で「家族で○○に行ってきた」とよく聞きます。10年前と比べると残業時間も1日平均20～30分短くなりました。健康経営は悩みどころで、年1回の健康診断と再検査を強く勧めることぐらいしかできていません。

山口 今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。

伊藤 自社の特性をもっと生かせるような販路開拓や新商品づくりを目指しています。挑戦してみたいことがいくつかあり、作業の合間を見つけて情報収集するなどし、可能性を探っているところです。

山口 食品は味と同じぐらい安全性が第一で、高度な衛生管理や品質管理には感心させられました。今後も地産地消の取り組みなどで、本県産の食材の人気に拍車がかかることを大いに期待しています！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.20

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

自治体情報システムの標準化やクラウド化の対応に注力
IT人材不足「2025年の崖問題」への対応が重要

代表取締役社長
小暮（こぐれ） 憲一（けんいち） 氏

㈱福島情報処理センター

郡山市桑野3-18-24
TEL.024-923-2116
https://fic.co.jp/

高品質なセキュリティを誇るデータセンター（左）

山口 近年、デジタルビジネス革命が全世界に広まっていて、情報サービス産業を取り巻く環境は大きく変化しています。今回は行政機関や民間を問わず幅広い分野で活躍している福島情報処理センターさんにお邪魔しました。まずは業務内容について小暮憲一社長にお聞きします。

小暮 弊社は郡山市に本社を置くITソリューション企業です。1965年創業以来、地域情報サービス業界のパイオニアとして、福島県内を中心に自治体や民間企業、さらに医療介護機関など様々な業種に対応した情報処理サービスを提供しています。

山口 お客様と接する上で大切にしていることは。

小暮 経営ビジョンの一つに『お客様満足度の向上』があります。お客様の要望に応えるのは当たり前ですが、お客様の要望の一歩先を行く提案を心掛けています。来年度からの次期中計では『デジタル化が進展する中で、ITCビジネス、IoT分野のプロ集団としてお客様の顕在ニーズ＋潜在ニーズを捉えて、新しい価値を届け続ける』を重要な経営方針に掲げています。

山口 特に力を入れている商品やサービスはありますか。

小暮 地方自治体のシステム効率化や市民サービス向上のため、総務省などが中心となり自治体情報システムの標準化やクラウド化が進められ、その対応に注力しています。民間ではレガシーシステムの刷新（2025年の崖問題）対応が重要になってきます。

山口 データセンターは自然災害にも強いそうですね。

小暮 鉄骨造（CFT柱）免震構造の地上5階建て、電力引き込み2系統、発電機、UPS（無停電電源装置）の設置、更にはセキュリティ対策を行い、高レベルの安全性・信頼性を求められる「Tier3」の基準を満たしています。外気冷却対応空調やLED照明、太陽光発電を採用し環境にも配慮しています。

山口 人材確保や社員教育について教えてください。

小暮 県内大学やハローワーク、就活サイトで開催される企業合同説明会に積極的に参加しています。インターンシップではAI・ロボット・VRなどIT最新技術を学生に体験してもらい、まずはIT分野へ興味を持っていただけるような取り組みを行っています。社員の技術や意識向上を図るために毎年多くの研修を計画・実施しています。

お客様満足度の向上を目指す小暮社長と山口さん

山口 働き方改革や健康経営については進んでいますか。

小暮 社員同士の交流を図ることを目的に、うねめまつりへの参加をはじめ、芋煮会やボウリング、同好会活動などを活発に行っています。永年勤続者へのリフレッシュ休暇や誕生日休暇など、休暇制度も充実しています。働き方改革については各年齢層によって働き方に対する意識の違いがある中で、各年齢層に応じた多様な働き方を実現するための取り組みを強化していかなければと思っています。

山口 今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。

小暮 これからも地域との関わりを大事にし、地域への恩返しを考えながら、さらに企業として成長したい。現主要商品やサービスは維持しながら、お客様のオーダーに対応できる商品開発力や自社ブランドの確立を目指します。

山口 創業当時から培ってきた高い信頼性と実績には感心させられました。これからもさらなる「お客様満足度の向上」を目指して頑張ってください。応援しています！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.21

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

有事の際の連絡体制整備など危機管理を強化
4週8閉所の現場増加で休暇取得も促進

郡山営業所長
齋藤 貴昭（さいとう たかあき）氏

㈱ユアテック

郡山市字道場51-6
TEL.024-941-2840
https://www.yurtec.co.jp/

創立80周年を記念して制作されたCM

山口 今回は私たちの生活に欠かすことのできない電気設備や空調・給排水の工事などを手掛けるユアテックさんにお邪魔しています。まずは業務内容などについて齋藤貴昭所長にお聞きします。

齋藤 電気工事を中心とした総合設備工事業として、電力のインフラ整備工事をはじめ一般、官公庁において様々な工事を行っています。企業理念には「ユアテックはお客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、社会の発展に貢献します」を掲げています。東北6県と新潟県を中心に、建設業を通じて社会発展に貢献することを生業としています。

山口 生活インフラを守るために心掛けていることは。

齋藤 東北電力と東北電力ネットワークの持つ電力安定供給の使命を果たすために、有事の際の緊急対応を含めて24時間365日、いつでも対応できる体制づくりを心掛けています。

山口 東日本大震災で得た教訓を教えてください。

齋藤 危機管理が非常に重要だということを改めて実感しました。東日本大震災では社内の体制が不十分で携帯電話もつながらず、なかなか連絡が取れませんでした。今は全従業員とすぐさま連絡が取れる体制を敷いています。2019年の台風19号で郡山営業所の1階部分が水没しました。災害はいつ発生するか分からないので常に連絡体制を整え、避難訓練等を継続していきたいと思います。

山口 特に力を入れている商品やサービスはありますか。

齋藤 リニューアル工事や再生可能エネルギー工事、建物付帯情報通信工事などに注力しています。新しい分野にも挑戦し、お客様に選んでいただける企業を目指しています。最近話題となっているデータセンターに関しては、東北地方にデータセンター自体が少ないのですが、DXやAIの普及で今後成長していく産業なので、チャレンジすべき案件だと考えています。

危機管理の重要性を唱える齋藤所長と山口さん

山口 人材確保や社員教育について教えてください。

齋藤 当社も例に漏れず人手不足や採用難、離職の問題を抱えています。昨年創立80周年を迎えて新しいテレビCMを作成・配信したり、路線バスに広告を掲載するなど企業のイメージアップを図っています。今年から定年を60歳から65歳に延長し、まだまだ働けるシニア世代の活躍に期待するところです。新入社員研修や各階層別教育、部門ごとの専門教育を積極的に行い、入社1～2年目の現場管理教育では、大型現場への派遣で実務経験を積ませています。

山口 働き方改革や健康経営については進んでいますか。

齋藤 建設業の時間外労働規制も始まり、お世話になっているゼネコンも4週8閉所などの現場が増え、以前に比べると休暇も取りやすい状況です。生活習慣病予防や健康増進への取り組みが評価され、2022年度から3年連続で「健康経営優良法人」に認定されています。

山口 今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。

齋藤 家族を含めた所員の皆さんが健康で明るく過ごせるように願っています。私を含めた管理職で明るい職場、何でも相談できる職場風土を作れるようコミュニケーションを大切にしたいと思います。

山口 これからも危機管理を強化、働き方改革を推進し、市民の豊かな暮らしを守り、社会の発展に貢献していただきたい。頑張ってください！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.22

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

参議院議員・南東北グループ顧問・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

代表取締役社長
酒井（さかい） 秀樹（ひでき） 氏

㈱お菓子のさかい

石川郡石川町長久保277-20
TEL.0247-26-2522
https://sweetssakai.kawaiishop.jp/

華やかなパッケージの商品が並ぶ店内（石川本店）

地産地消で福島県や石川町の魅力を発信
お菓子のディズニーランドを目指す

山口 誕生日やクリスマスなどの記念日に欠かせないケーキやお菓子は私たちを幸せにしてくれます。今回は石川町のお菓子のさかいさんにお邪魔しています。まずは事業内容や経営理念について酒井秀樹社長にお聞きします。

酒井 当社は1913年（大正2年）に牛乳店として創業しました。現在は和洋菓子の製造・販売を手掛けており、石川本店ではパンも扱っています。石川町（本社と本店の2店舗）のほか郡山市、須賀川市、棚倉町、矢吹町に直営店があり、通信販売も行っています。私は3代目で、次女が4代目を継ぐ予定です。経営理念はシンプルに「美味しいお菓子を美味しく食べていただく」ですが、今はSNSなどで「映える」ことも重要な要素になっているので、見た目も大事にしています。

山口 お客様と接する際に大切にしていることは。

酒井 自信を持って言えるかどうかわかりませんが、「笑顔」「感謝」「元気」の三原則を常に心掛けています。本来、お菓子は嗜好品であり、昔で言えば〝ハレの日（特別な日）〟に出てきて喜ばれるものでしたが、今はいつでもどこでも簡単に食べることができ、感動や喜びも薄れてきています。そういう状況を踏まえると個人的な志ですが、論語にある「近き者説（よろこ）べば、遠き者来る」を実践したい。小さな町であっても熱心に一生懸命に取り組めば、遠くからでもお客様が来てくれると信じています。

山口 おすすめの商品を教えてください。

酒井 具体的な商品名を挙げることは控えますが、特に力を入れているのは「間違いなく材料がいいものだ」と言える商品です。地産地消にこだわりもあり、本宮町の烏骨鶏の卵や矢祭町のイチゴ、会津山塩、富岡町のパッションフルーツ、浪江町のえごまなど本県産の素晴らしい材料を使ったカステラやケーキ、パイなどがおすすめです。意外に思われるかもしれませんが、本店のみで販売している食パンも秘かに人気があり、ぜひ一度、食べていただきたい。

山口 学法石川高校とは関係が深いそうですね。

酒井 私自身も卒業生で3年間、甲子園を目指して頑張っていました。校舎は本店のすぐそばです。昨年の選抜大会出場の際は〝学法石川〟の焼き印を付けた「幸福の黄色いブッセ」を作りました。野球部だけでなく陸上競技部など他の部活動も盛んで、生徒たちは石川町民の誇りです。

山口 人材確保や社員教育などについて教えてください。

酒井 どの業種も人材確保に苦労していますが、お菓子屋は女性が活躍できる可能性が高いので期待しています。人材確保や社員教育はトップの考え方次第なので、しっかりやっていきたい。定期的に社員と面談し、仕事の悩みなどを聞いて、問題点など早期に解決するよう努めています。

山口 今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。

酒井 社員みんなで考えたビジョンに「私たちはお客様の声を喜びとして、全員参加でお菓子のディズニーランドをつくる」があります。お菓子作りを通してワクワクし続けたい。出社して働くことで社員もお客様も、みんなが元気になれる。それがいちばん幸せなことだと考えています。

山口 これからも地産地消で福島県や石川町の魅力を多くの方々に伝えてほしい。「お菓子のディズニーランド」を目指して頑張ってください！

お菓子作りにまい進する酒井社長と山口さん

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.23

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

参議院議員・南東北グループ顧問・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

太陽光発電専門業者としての自覚を持ち、豊富な実績と確かな技術で『創エネ』に貢献

代表取締役
尾形 芳孝（おがた よしたか）氏

㈱ソーラーポスト

福島市岡部字大蔵52-3
TEL.024-535-5741
https://www.solar-post.jp/

脱炭素社会に欠かせない太陽光発電システム

山口　東京都では4月から新築住宅に太陽光パネル設置を義務付けるなど、脱炭素社会への動きが加速しています。今回は福島県内で太陽光発電のリーディングカンパニーとして走り続けるソーラーポストさんにお邪魔しています。まずは事業内容について尾形芳孝社長にお聞きします。

尾形　太陽光発電システムや蓄電池の販売・施工、オール電化リフォーム、ソーラーカーポートの販売・施工などを手掛けています。再生可能エネルギー普及のために製品・工事・営業の3つにおいて高品質を社会に提供し、お客様の満足のために最高の営業努力を果たしています。太陽光発電システム専門業者としての自覚を持ち、豊富な実績と確かな技術により皆様の『創エネ』に貢献しています。

山口　脱サラして太陽光発電事業を始めたきっかけは。

尾形　長年勤めていた都市銀行を40代半ばで退職し、独立して㈱ソーラーポストを設立しました。銀行員時代に培った「お客様の立場に立って考え、ニーズに応える」というポリシーを活かし、太陽光発電システムの普及を通じて地球環境の保全に貢献することを目指して創業しました。

山口　多くのお客様に選ばれているのは何故でしょう。

尾形　太陽光発電システムの設計・施工からアフターフォローまで一貫して自社で行っています。各メーカーの研修を受けた熟練の屋根工事士や電気工事士が在籍し、高い施工技術を誇っています。福島県を中心に地域に根ざした営業活動を展開し、迅速な対応が可能です。創業以来、太陽光発電の専門店として豊富な実績を積み重ね、信頼性の高いサービスを提供し続けています。これらの取り組みによりお客様からは「ソーラーポストは工事部があるから決めました」という声を多くいただいております。

環境保全への貢献を誓う尾形社長と山口さん

山口　特に力を入れている製品やサービスは何ですか。

尾形　東北初のテスラ家庭用蓄電池パワーウォールの認定販売施工会社で、大容量蓄電池を低コストで導入できるシステムとして、販売に注力しています。太陽光発電付カーポート「ソーラーバンク」もバージョンアップを重ね販売を強化しています。

山口　人材確保や社員教育について教えてください。

尾形　パート社員の採用や部署間の人員のやりくりで対応しています。積極的にセミナーへの参加を促し、資格取得者へ手当を支給することで、社員自らが成長する環境づくりを整えています。

山口　働き方改革や福利厚生などは進んでいますか。

尾形　計画的に有休を取得できるように、社員が年度ごとに希望日を提出し反映しています。会社として「えふ・サポート」に加入し、各種福利厚生を準備しています。社員は毎年充実したメニューの健康診断を受け、体調管理に注意しながら日々の業務に取り組んでいます。

山口　今後の夢やビジョンなどをお聞かせください。

尾形　太陽光発電システムと蓄電池を通して、高騰する光熱費から皆様をお助けし、停電させない家を今以上のペースで増やしていきたい。すでに取り扱っている省エネリフォームやEV関連機器の販売を拡大し、皆様により必要とされる会社を目指します。

山口　再生エネルギーの活用は地球温暖化対策には必要不可欠です。これからも太陽光発電システムの専門業者として頑張ってください！

好評連載中!

山口和之さんの いきいき企業探訪

Interview vol.24

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

（やまぐち・かずゆき）

参議院議員・南東北グループ顧問・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉政策の立案・実施に貢献する。

未来を見据えたチャレンジを続け、電子カルテの国内シェアトップ目指す

代表取締役会長
宮崎 勝（みやざき まさる）氏

㈱ソフトウェア・サービス

大阪市淀川区西宮原2-6-1
TEL.06-6350-7222
https://www.softs.co.jp/

ソフトウェア・サービスの本社ビル（大阪市）

山口　昨年4月にスタートした医師の働き方改革ですが、医療スタッフの人出不足もあり、医療DXが進まないことには話になりません。今回は医療系システム開発を手掛けるソフトウェア・サービスさんにお邪魔しています。まずは事業内容や経営理念について宮崎勝会長にお聞きします。

宮崎　医療機関向けの電子カルテシステムやオーダリングシステムを中心に医療情報システムの開発・販売・導入・保守を全て自社で行っています。経営理念は『人を活かすシステムの創造で社会に貢献します。明日の医療、健康、介護を情報システムで支援します。』を掲げています。

山口　ターゲットを医療業界に絞り込んだ理由は。

宮崎　当社主催のIT勉強会に参加していた病院の理事長からシステム化の相談を受けたことがきっかけで、病院システムの開発を始めました。その後、医療業界の持つ将来性や内部の人財の適性、技術の蓄積などを鑑みて、選択と集中を行いました。

山口　特に力を入れている商品やサービスは何ですか。

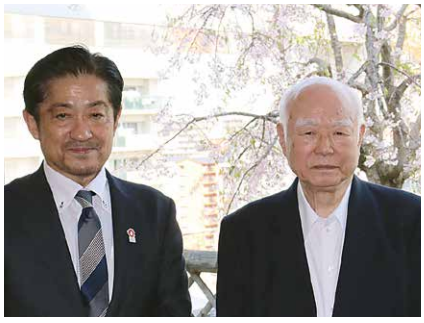
宮崎　基幹システムの『新版e-カルテ®』、『NEWTONS』、『看護支援システム』など各部門システムも含め、120を超える医療情報システムを自社開発し、提供しています。当社製品を多く採用していただくことで、よりシームレスに、よりリーズナブルに利用でき、高価値サービスの提供が可能になります。

山口　電子カルテの国内シェアトップが見えてきました。

宮崎　医療に従事する方々と真摯に向き合い対応してきた成果だと思っています。私たちが最も大事にしているのは「人のつながり」です。人と人との出会いを大切にし、昨日の続きにとらわれず、未来を見据えてチャレンジを続け、年輪のように知識を集積させ、成長を続けてきました。

山口　人材確保や社員教育について教えてください。

宮崎　当社の仕事は人が全てで、「人財」こそが商品であるといえます。関西を拠点に採用していましたが2022年から東京に支社を構え、関東での採用活動にも力を入れています。社員教育については階層別研修を行っており、入社1年後のフォローアップ研修、入社2年後のステップアップ研修、役職を得る前に行う初級マネージメントなど、成長段階に応じて体系的な教育を実施しています。



人財こそが商品と話す宮崎会長と山口さん

山口　働き方改革や健康経営について教えてください。

宮崎　57年前の創業当時よりフレックスタイムを導入し、効率的な働き方を実践しています。新型コロナが契機となりリモートワークをトライアル採用し、現在は出社をベースとしながら通年制度としています。医療系の企業ということで社員の健康には十分配慮し、早期より就業中は全面禁煙にしました。定期健康診断はもとより、メンタルヘルスや健康相談も含め、産業医の先生とも連携しています。

山口　今後の夢やビジョン、目標をお聞かせください。

宮崎　医療サービスの向上を医療機関と共に考え、専門性を活かした医療情報システムの創造を自らが行うことで、社会に貢献したいと考えています。オンリーワンであり続け、他力に頼ることなく自立し、無から価値を創造し続け、シェアトップを目指します。

山口　人財こそが商品という言葉に感銘を受けました。電子カルテの国内シェアトップを目指し、社員の皆さんとともに頑張ってください！